

牛久：学校周辺に見る自然

第1号

ひたち野西近隣公園，牛久自然観察の森

2011年4月14日発行

<サクラ満開！>

さあ、新年度が始まりました。

あちこちの学校ホームページに、サクラ満開のニュースが載っています。私の牛久での勤務はまだ始まりませんが、そろそろソメイヨシノも散り始めてきたので、あわててこの記事を書いています。



まずは、22年度第60号でも紹介したソメイヨシノ。

左の写真は、牛久自然観察の森のソメイヨシノです。

オオシマザクラとエドヒガンの雑種と考えられており、それぞれの特徴を受けついでいます。

エドヒガンと同じく葉が開くより先に花柄やガクに細かい毛のある花が咲きますが、オオシマザクラのように大型の花です。

ところで、全国各地で愛されているソメイヨシノが、すべて接ぎ木などで増やされたクローンであることを知っていますか？他の桜の花粉がつくなどして果実ができることもありますが、その種子をまいてもソメイヨシノにはなりません。種子で増やすことはできないのです。変な例えですが、私の髪の毛を切ってばらまいておくと、それらからたくさんの宮内ができるようなものなのです。また、ソメイヨシノが同じ遺伝子をもつクローンだからこそ、気象条件などが等しい同じ地域では一斉に咲き、一斉に終わるのです。



ソメイヨシノ(上)とオオシマザクラ(下)
: 4/12牛久自然観察の森

次は、雑木林などでよく見られるヤマザクラ。写真のように通常やや赤茶色した葉が開くのと同時期に花が咲きます。ソメイヨシノより遅れて咲き出すことが多いのですが、今年はあまり差がないようですね。サクラの仲間はみんな同じように見えるかもしれませんが、よく観察すると異なる点もたくさんあります。花や葉の特徴など、じっくり観察して比べてみましょう。

【理科支援員：宮内】



ヤマザクラ : 4/12ひたち野西近隣公園